

誰もが住みよい福祉のまちづくり

研究者プロフィール

- ・地域総合学部地域コミュニティ学科 教授 菅原真枝
- ・専門分野 福祉社会学
- ・所属学会 日本社会学会、日本在宅ケア学会、福祉社会学会
- ・誰もが地域で安心して暮らせる「福祉のまちづくり」を研究しています。ドイツの社会学者ユルゲン・ハーバーマスの社会理論を手がかりに、福祉制度と地域社会の関係を理論的に検討するとともに、特別養護老人ホームでのフィールドワークを通して介護現場の実態や課題を明らかにしています。また、介護分野における外国人ケアワーカーの受け入れや地域共生社会の実践、バリアフリーや障害文化活動など、制度と現場をつなぐ研究に取り組んでいます。



研究内容

ユルゲン・ハーバーマスの社会理論と福祉社会
特別養護老人ホームにおけるユニットケアの課題分析
老人福祉施設と地域社会の関係
介護分野における外国人ケアワーカーの受け入れ
インドネシア（ジャカルタ、バリ島北部）における介護・看護人材育成の調査
日本における外国人介護人材受け入れ支援の調査
バリアフリー・ユニバーサルデザインの進展
障害者のスポーツ・文化活動

関連キーワード

福祉社会学／高齢者福祉／障害者福祉／地域共生社会／福祉のまちづくり／
外国人介護人材／バリアフリー

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

- ・ゼミ学生とともに、仙台市若林区六郷地区において多世代交流の場づくりの実践活動をおこなっています。また、障害のある人もない人も一緒に音楽を楽しむ「とっておきの音楽祭」の運営に携わり、音楽を通じた心のバリアフリーの実践に取り組んでいます。
- ・男女共同参画やまちづくり評価、スポーツ・文化振興に関する外部委員の経験があります。
- ・構想段階ではありますが、障害当事者と協働して、仙台市内の車椅子対応トイレの詳細情報を掲載したバリアフリーデジタルマップの作成に取り組んでみたいと思っています。
- ・ゼミ活動や実習を通じて、地域福祉活動の支援、バリアフリー環境の調査、地域資源をつなぐネットワークづくりなど、自治体や地域団体との連携が可能です。

研究者への連絡先

産学連携推進センター

Email srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

電話 022-354-8122